

令和5年度 講習会・研修会・講演会等実施一覧

一般財団法人建築保全センター
令和5年12月1日現在

I. 講習会・研修会

★申込受付中の講習会等です。

部門	講習・研修名	開催地域	募集人員	開催時期	参加対象／費用	概 要	備 考
建築改修工事	建築改修工事監理指針(令和4年版)WEB講習会 * 当講習会は令和5年1/13～3/2全国9か所で開催の講習会をWEB配信用に編集したものです。	WEB配信	各100名	4/25～4/27 <終了>	一般・行政／ 会員：9,900円 非会員：11,000円 使用教材別途	建築改修工事監理指針は、工事監理に必要な基礎知識を得るとともに、品質の確保に不可欠な規格・基準、材料・工法などの資料や施工技術を豊富に掲載した工事現場必携の書です。 本書は既存ストックの有効活用が強く求められている今日、公共建築改修工事標準仕様書を適用する工事はもとより、一般の建築改修工事においても広く本書を活用していただき、建築改修工事における品質の確保が図られます。	<使用教材> ・建築改修工事監理指針(上・下巻)令和4年版
	★建築改修工事技術定期講習会	WEB配信	各100名	R6/2/15 2/20 各日共 10:00～16:00	一般・行政／ 会員：9,900円 非会員：11,000円 使用教材別途	国・政府関係機関及び地方公共団体をはじめ民間においても広く適用されている国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の書籍による基礎知識を得ることはもちろん、既存ストックの有効活用が強く求められている今日、適正な工事監理が図られます。	<使用教材> ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版 ・建築改修工事監理指針(上・下巻)令和4年版
	建築仕上げリフォーム技術研修 「建築仕上げ改修施工管理技術者 (資格取得研修)」	①東京 ②大阪 ③福岡	①100名 ②40名 ③40名	①8/22～8/24 ②9/6～9/8 ③9/26～9/28 <終了>	一般／ 3日コース:52,560円 2日コース:35,280円 使用教材別途	・改修の基礎知識、仕様書の背景となる考え方、さらに防水、外壁、塗装、建具、内装、耐震等の専門の改修施工技術に関するテキストを用いて、各々の分野の著名な講師が集中的に講義を行います。 *「建築仕上げ改修施工管理技術者」は建設キャリアアップシステム(CCUS)レベル4【建設塗装、外壁仕上】(2022/12現在)に申請できます。	<使用教材> ・公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)令和4年版 ・建築改修工事監理指針(上・下巻)令和4年版
建築保全業務	建築物の点検・確認及び簡易な劣化判定手法(令和5年版)講習会	WEB配信	各100名	11/16 11/17 11/22 各日共 13:00～17:00 <終了>	一般・行政／ 会員：9,900円 非会員：11,000円 使用教材別途	・国の機関における「建築基準法」及び「官公庁施設の建築等に関する法律」に基づく点検・確認の留意事項を写真や図表で分かりやすく解説します。また、建築物を良好な状態に維持し、安全で快適な環境を提供するために施設管理者が日常的に劣化状況を把握し速やかに適切な対応を取ることができるよう、簡易な劣化判定手法と専門用語を分かりやすく解説します。	<使用教材> ・国の機関の建築物の点検・確認ガイドライン(令和5年版) ・施設管理者のための建築物の簡易な劣化判定ハンドブック【令和5年版】
	★保全技術講習会 「建築保全業務共通仕様書及び同解説(令和5年版)並びに積算基準及び同解説(令和5年版)」講習	①東京1②東京2③札幌④仙台⑤さいたま⑥金沢⑦新潟⑧名古屋⑨大阪⑩広島⑪高松⑫福岡⑬那覇	①60名②80名 ③60名④40名 ⑤40名⑥20名 ⑦20名⑧60名 ⑨60名⑩40名 ⑪20名⑫80名 ⑬40名 3人掛机に2名着席	①12/12②11/26 ③1/24④1/31 ⑤12/15⑥2/9 ⑦1/19⑧12/7 ⑨12/5⑩12/21 ⑪1/10⑫12/19 ⑬1/16 <12/5～R6/2/9> 13:00～16:00	一般・行政／ 会員：9,900円 非会員：11,000円 使用教材別途	・契約図書として建築保全業務共通仕様書を豊富な図表で分かりやすく解説します。 ・予定価格の根拠とする建築保全業務積算基準及び積算要領を豊富な図表で分かりやすく解説します。	<使用教材> ・建築保全業務共通仕様書及び同解説(令和5年版) ・建築保全業務積算基準及び同解説(令和5年版)
	★建築物の維持・保全研修 共催：(一財)全国建設研修センター	東京(小平市)	40名	R6/1/16～1/19	一般・行政／ 会費：86,000円 使用教材含む	・建築物保全に関してファシリティマネジメントの活用や建築物の維持・保全に必要な知識の習得を目的とします。	
ライフサイクルコスト	建築物のライフサイクルコスト(令和5年版)講習会	①東京1②東京2③札幌④仙台⑤新潟⑥金沢⑦名古屋⑧大阪⑨広島⑩高松⑪福岡⑫那覇	①100名②110名 ③30名④40名 ⑤20名⑥20名 ⑦60名⑧90名 ⑨40名⑩30名 ⑪50名⑫40名	①10/2②11/20 ③10/5④10/11 ⑤11/10⑥10/24 ⑦10/18⑧10/31 ⑨11/30⑩10/13 ⑪11/2⑫11/7 <10/2～11/30> 13:00～16:30 <終了>	一般・行政／ 会員：9,900円 非会員：11,000円 使用教材別途	・建築物は従来の初期投資に重点を置いた考え方に代わり、ライフサイクルに着目し長期視点に立った総合的な検討が認識されつつあります。建築物のライフサイクルコストの手引書である本書を用いて、考え方、算定方法等を分かり易く解説します。	<使用教材> ・建築物のライフサイクルコスト(令和5年版)
出前講座	上記講習会の講習内容選択	ご指定場所(WEB配信可)		ご希望日調整	お見積り		

II. BIMMS講習会

部門	講習・研修名	開催地域	募集人員	開催日	参加対象／費用	概 要	備 考
BIMMS	BIMMS管理責任者講習会	建築保全センター会議室	各8名	5/12, 7/7, 9/8, 11/10<終了>	BIMMS利用の 地方公共団体／ 5,500円	・BIMMSの機能、データ入力方法、利用効果について解説します。	
BIMMS	★新しい保全マネジメントシステム(BIMMS)説明会	①東京②大阪③名古屋④さいたま⑤広島	①60名②50名 ③40名④50名 ⑥30名	①R6/1/25②2/2 ③2/7④2/15 ⑤2/22	地方公共団体のほか独立 行政法人等の公的機関／ 無料	・令和6年4月からクラウド方式でのサービス提供を行う新しい保全マネジメントシステム(BIMMS)について、その機能、操作方法などを解説します。	

III. その他講演会等

部門	講習・研修名	開催地域	募集人員	開催時期	参加対象／費用	概 要	備 考
公共建築月間 記念行事	保全技術研究会・記念講演会	①東京(建築会館)、 Live配信 ②WEB配信(2日)	①45名、 100名 ②各100名	①11/15<終了> ②11/28,29	一般・行政／ 無料	・保全技術研究会では戦略的な公共建築マネジメントの取り組みの研究発表、記念講演会では著名講師を招いての講演会を行います。	
公共建築の FMと保全	★自治体等FM連絡会議	①久留米市(開催済み) ②東京(日比谷コンベンション ホール)	— 未定	①7/13,14<終了> ②R6/2/2	登録の自治体職員／ 無料	・公共建築のファシリティマネジメントと保全に係る自治体の担当者相互に顔が見える形で情報交換、交流することを目的に、先進自治体の取組みや各自治体での課題を共有する場として会議を開催します。	幹事自治体により会議運営に関する企画・調整・実施が行われてい

- 1) 本表は、令和5年12月1日現在の予定であり、今後変更の可能性があります。最新情報は下記URL(右記QRコード)からご覧下さい。
- 2) 「費用」は税込み価格です。
- 3) 「講習会・研修会・講演会等」には、解説資料(非売品)が付いています。上記使用教材と解説資料で分かりやすい講習会となっております。
- 4) VOD(ビデオ・オン・デマンド)配信は、Zoomウェビナーを使用します。
- 4) 「会員」とは、①(一財)建築保全センター賛助会員、②国・地方公共団体、独立行政法人等公的機関の職員、③後援、協賛団体の会員、④建築仕上げ改修施工管理技術者を言います。
- 5) 開催時期は明確になり次第、ホームページに掲載します。
- 6) 上記開催の講習会、講演会、研修会は「建築CPD情報提供制度」(一部「営繕業務関係特別認定講習会」)(ポイント加算対象予定)プログラム認定の申請をします。
上記開催の講習会、講演会、研修会は「認定ファシリティマネジャー(CFMJ)資格者」の「更新講習B方式ポイント対象セミナー」に認定の申請をします。

＊ ＊ ＊ 詳細はホームページ(https://www.bmmc.or.jp/gyoumu4/r05_kousyu_ichran.pdf)をご覧ください。右のQRコードからもアクセスできます。＊ ＊ ＊

